

F C S 通常授業【8年シーズンv2.1】 要項一覧

※通常授業は毎週 1 回、月計 4 回授業。一講座(一科目)から受講可。無学年制。

※形式は予習塾(中高内容の速習)で少人数集団授業(大学院のゼミ形式)。試験前は復習。学年はなく(小学生の参加も妨げません)、生徒が学びたいだけ先に解き進め学校の授業を復習にってしまう講座。

※国語は初歩から始め共通テストを解く中学生を育む。

※英語は指導要領改訂に伴い、四技能英語対応のSコース(主に中学生対象。国語力があれば小学生も参加可。教材はプログレス)と英文法を究めるRコース(中高校生対象)を開講。

※新中1英語は2・3月にフォニックスを教授。

※数学は学校で配布された「Aクラス(久留米附設)」「高校への数学(久留米附設)」「体系数学(大濠・上智福岡・早稲田佐賀)」をそのまま使用(公立中・付属中他市内一貫組はウィングプラス)。中高一貫生は三平方の定理履修後、高校数学Rコースに個別昇格。

※新中1数学は教材を貸与。2月から数学を先取り。

※理科は8カ年分の入試問題(公立・久留米附設)をベースに物理基礎・化学基礎・生物基礎に繋げるJコース理科と中高ボーダレスのRコース物理、Rコース化学を開講。

Jコース 数学

■Jコース数学要項

◆学年に関係なく中学数学を速習できる画期的講座

Rコースに転塾して来た修猷館高校1年生が「これ去年塾で習いました。でも『そうなるから』で、どうしてそうなるかを今日初めて知りました」と答えました。

新課程数学になり中学数学と高校数学の境界は小さく(幾何データ・整数・確率)先生の技量にシビアになりました(誤魔化せない)。

F C Sは元々修猷館・久留米附設高校等、現役高校生対象の予習塾です。だから高校数学に全対応できる講師陣が標準。その彼らが中学数学を教えます(他塾のようなことはおきません)。

まずは高校受験組にはウィングプラス(標準的な塾教材)を1から自分のペースで解かせます。3まで終わったら(久留米附設中の教材である)Aクラスを演習し附設中と同じ環境を目指します。一貫組は体系数学、Aクラス(これが大変)があればその先取りから始めます。

現在、大学進学実績を誇る中高一貫校では青チャートを早く買わせて中学数学と高校数学を混ぜて教える中学校も増えました。F C Sも生徒のコンディションに合わせて教材(チャート)を貸与し取り掛かりを助けます。

一貫生は三平方の定理を履修終えたらRコースに昇格です

◆会場(日時) 藤崎(火、木、土、日朝、時間帯はHP)

◆難関私立高校受験対応◆中学数学終了後随時Rコースへ

◆公立中生で一貫中の数学を学ぶ事も可。

◆新中学1年生は随時J数学の時間で数学の先取りをします

S(小・中学生)コース 英語

新中学1年生は
2、3月はフォニックス・・・

■Sコース英語要項(教材はプログレス使用)
開催日●日曜日17:30～18:30(フォニックス)

19:00～20:20(2＝中級)

20:30～21:50(3＝上級)

会場●リモート+オフ会形式(3/29に藤崎説明+内覧会)
注※新中1はまずフォニックスから。2、3月は時間、受講料が異なります。お尋ねください。

■主宰者からのメッセージ「Sコースの英語とは」
大学入試改革に即応した英語講座の決定版

S英語はプログレスに精通した先生に登壇頂いています
久留米附設中学校の英語進度も理解し、四半世紀を超えるキャリアを誇る先生が指導します。

一流海外大学留学指導にも通じ、文部科学省が目指すグローバル英語(聞く、読む、話す、書くの4技能統合型言語活動)が身につく最新英語講座です。

■中高ギャップの解消、BOOK3＝センターレベル

久留米大附設の生徒が圧倒的な合格実績を誇る秘密は？入試問題を見て頂ければ一目瞭然です。公立高校、市内の私立高校は限られた単語でしか問題は作られてませんが、附設は大学入試センター並の語彙、英語のスキルを求めています。本講座はプログレスを教材に使う事で、中学英語の枠にとらわれず、経済界が求める英語力を中学生に身につけさせる講座です。

Rコース高校英語

TOEIC900点超の先生が教える

本格高校英語講座

日時●水曜日 19:00～20:30

会場●藤崎本館

教材●生徒と相談して決めていきます

対象●高校生、及び、英語をもっと伸ばしたい中学生

●2月度の内容

英語の長文問題演習を中心に取り組んでいく。

なんとなくのフィーリングで答えを選ぶのではなく、文法や構文、単語の意味を一つひとつ確認しながら、「なぜその答えになるのか」を説明できる読み方を身につけることを目標とする。

長文を読む中で、根拠を持って判断する力を養い、安定して正答できるようにする。

要項●英文解釈を通して、文法事項を確認したかったものの、英文法に苦手を感じている生徒がとても多く、まず、英文法中心に指導することにしました。

高校英文法を基礎からやりますので英語をしっかり学び直したい高校生、一味違う英語を学びたい中学生も参加できる講座にしていきたいと思います。

※事前に上記を予習して参加してください。英語は準備です。予習した生徒には更に深い内容を指導します。

●新高校1年生へ／高校英語準備講座

随時、水曜夜Rコース高校英語の時間に新高1を受け入れて文法中心に高校英語の準備を個別に行います。一週でも無駄にする事なく高校英語にギアチェンジしましょう。

Jコース 国語

本気で国語の成績を
改善したいのなら・・・

日時●毎週水曜日20:40～21:40 会場●F C S藤崎本館
●2月度の内容

新しい解き方を増やす時期ではなく、これまで身につけた読み方・考え方を使って、入試問題を安定して解けるようにする時期である。

国語はセンスや感覚で解く科目ではなく、本文に書かれている情報を正確に拾い、設問の条件に合うものを選ぶ作業の積み重ねであることを常に意識する。

要項●現代文では、論説文・随筆・物語文の基本的な読解パターンを学び、設問の意図に応じた読み取りを身につけます。

選択肢問題の根拠の取り方や、記述問題で減点されない答案の書き方も指導します。

古文については、頻出語彙・文法(助動詞・助詞)敬語を中心に、高校入試で求められる基礎を定着させます。

文章の大意把握・現代語訳の演習を通じて、苦手意識の克服と得点源化を図ります。

漢字・語彙・文法問題についても定期的に演習を行い、全体的な得点力を強化していきます。

●新中学1年生へ

随時、水曜夜Jコース中学国語の時間に新中1を受け入れて中学国語の授業を行うこともできます。ご相談ください。

先生つき自習室

開催日●日曜朝8:30～11:00

会場●藤崎本館

資格●会員であれば参加可(無料)

■主宰者からのメッセージ

この教室の歴史は保護者が「どうしても」と言って公民館を探しだして開講した黒門数学教室まで遡ります(その子は西南中高→九大医学科現役合格)。

日曜の朝8:30に集う先輩達は違いました。

理III0.1点差で落ち九大医学科後期(当時)の附設くん。
経産省の新人トップページを飾った西南さん(現在オックスフォード大に出向)。

他方、退寮処分の挙句、東工大になんとか進学した附設君(本当に手がかかりました)。

数は少ないですがこの時間の使い方は上手かったです。

用途は多様。先生に言付けするなど工夫して通常授業をやむ得ず休んだ時の振替に使う、等、先生にお願いして見て下さい(普通の塾ならこれだけの先生をお金にするのかな？F C Sの生徒への投資タイムです。あとに続く数学の時間と連動させて「あなたも」賢くなってください)。

教室内のwifiは
右記で接続→

iei8jry5kicbk

Jコース 理科

物理基礎、化学基礎
生物基礎のレベルまで説明

■Jコース理科要項

日時●毎週水曜日19:30～20:30

場所●F C S藤崎本館

要項●本講座では中学校理科の基礎をしっかりと身につけ、定期テストや高校入試で高得点を目指します。また、理科への興味を育み、高校の理科でも通用するような知識をさらに学習していただく事で、より高い視点で中学理科を学ぶ能力を養うことを目標としています。

●2月は授業は

▼中学1、2年生

新学期でスタートダッシュを切れるように予習メインで授業を進めたいと思います。

化学または生物の内容を自宅で予習→授業→演習の解説→自宅で復習を繰り返し進めていく予定です。単元は生徒の学校の進度に合わせて変更することもあります。

▼中学3年生

中学範囲の理科を全て履修し終えている場合はご相談ください。入試対策等、個別に対応いたします。

各高校に向けて受験対策を行いたいと思います。

▼中高一貫生

授業で扱うと思われる、高校の化学基礎や物理基礎、生物基礎の内容を先取りしつつ、中学理科の内容の深い学びを提供します。

●授業計画案(参考※1年間で中学理科全体像を講義演習する内容になっているのが特長です)

▼3、4月は物理(GW勉強会で物理ダイジェスト)

▼5、6月は化学

▼7、8月は物理・化学の復習→応用問題演習

(夏期講習会で物理・化学ダイジェスト)

▼9、10月は生物

▼11、12月は地学(中学地学は意外と重たいのです)

(冬期講習会で物理・化学・生物ダイジェスト)

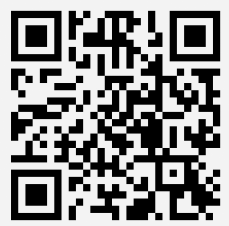
▼1、2月は中学1、2年生は生物・地学の復習→応用問題演習、中学3年生は12月の地学の範囲を絞り、その後志望校に準じた入試問題演習とします。

※上記のカリキュラムはあくまでベースであり、入塾・受講時期や出席状況、生徒の希望に応じてズレが生じますのでご了承ください(参加者の学校の進度を考慮)。

※課題を出します。これをやらないと十分な学力向上は望まれません。プリント整理の不得意な生徒は親御さんにも助力をお願いいたします。

※化学基礎、物理基礎、生物基礎を学びたい方はご相談下さい。

※中学受験を終えた小学生はご相談下さい。



4CE6764624BB

タップしてパスワードを共有

高校数学講座

数学予習コース・数学演習コース

予習●金〈要相談〉土〈新設〉・演習●火・木・土・日朝

高校数学予習講座●土

予習コースでは高校で使われている教材を使い、高校の授業の予習の説明→演習を繰り返して行きます。

演習を積み増したい会員が演習コースで数学の考究を続けています。

・準備良ければ結果良し

予備校や大手学習塾は一つの授業ラインがあり、生徒がそのラインに乗る事を強要されます。

F C Sはラインは複数ありますが、先生の数、教室の数がその分必要となり、回らなくなるのでは（塾が私立中対象としたくない本当の理由）との疑問を保護者、全国の塾・学校関係者から尋ねられました。

キーワードは「予習」。学校の復習をメインにすればラインは複数必要です。しかし「予習」すれば収斂します。

ただ、学校で習った前提で生徒に教える「塾・予備校」界では「発想の大逆転」です。ゼロから教える事は先生の技量を露わにし、どんなに中学(小学校)時代生徒数(合格実績)を誇っても、力量がなければ生徒は激減、クラスは消滅しています(中高一貫、公立トップ校に多くの生徒を合格させる割に合格後、コースはあるが足が遠のく塾が福岡には多い)。

「復習」は？適切な予習を行えば、質問が減るので、復習の必要がなくなります。試験前は他教科に時間を充てるようになるほどです。

・この船に乗り遅れた人はどうするの？

あなたが予習を行っている限り、落ちこぼれるという概念はこの教室にはありません。

しかし、この教室に通う機会を（うっかり中学時代の塾にそのまま契約してしまった等で）逸し「炎上中」の生徒はどうすればいいでしょうか？

炎上した船を修復しながら、目的の港に向かわせるのは（それも他の船と競争しながら、特に進学校）極めて困難です（近くに見える港なら到達できますが）。

過去炎上し、足が遅くなった船を修復した経験が教える事は「人の二倍、三倍努力した」至極当たり前の事実でした

幸い、F C Sは予習コース、演習コースの掛け持ち参加は妨げません(受講料の追加徴収はしてません！)

また授業動画はYouTube上にあり高額請求はありません。

教室内は高速Wi-Fi完備。スマホ(タブレット)+イヤホンを持参頂ければ、前の学期、学年のやり直しも追加料金なしで可能です。

「夢のある子」の参加をお待ちしています。

※中高一貫中学生は三平方の定理を履修した後に参加するといいでしょう。公立入試組は入試直後から参加がお勧めです。

※新高校1年生、高校数学を学びたい中学生は予習コース（土）にまづ参加してください。

月曜日

Mon.

R物理

19:00 - 20:30 藤崎

R物理

20:40 - 22:10 藤崎

火曜日

Tues.

J数学

18:20 - 19:20 藤崎

J数学

19:30 - 20:30 藤崎

J数学

20:40 - 21:40 藤崎

R数学演習

18:40 - 20:10 藤崎

R数学演習

20:20 - 21:50 藤崎

水曜日

Wed.

R英語

19:00 - 20:30 藤崎

高校英語準備講座

19:00 - 20:30 藤崎

R化学

19:00 - 20:30 藤崎

R物理

19:00 - 20:30 藤崎

J理科

19:30 - 20:30 藤崎

J国語

20:40 - 21:40 藤崎

R化学

20:40 - 22:10 藤崎

R物理

20:40 - 22:10 藤崎

木曜日

Thurs.

J数学

18:20 - 19:20 藤崎

J数学

19:30 - 20:30 藤崎

J数学

20:40 - 21:40 藤崎

R数学演習

18:40 - 20:10 藤崎

R数学演習

20:20 - 21:50 藤崎

金曜日

Fri.

R数学予習コース

18:40 - 20:10 藤崎

R数学予習コース

20:20 - 21:50 藤崎

土曜日

Sat.

R数学予習コース

18:40 - 20:10 藤崎

高校数学予習講座

18:40 - 20:10 藤崎

R物理

18:40 - 20:10 藤崎

J数学

20:20 - 21:20 藤崎

R数学演習

20:20 - 21:50 藤崎

日曜日

Sun.

先生付き自習室

朝 8:30 - 11:00 藤崎

J 数学

11:00 - 12:00 藤崎

R 数学演習

11:00 - 12:30 藤崎

フォニックス

17:30 - 18:30 藤崎注

S 英語 2

19:00 - 20:20 Line

S 英語 3

20:30 - 21:50 Line

■時間割変更、他■

●会場

S英語

2/1,8,15,22,3/29

藤崎本館

3/1,8,15,22

リモート

※交通機関停止

先生発熱等により

休講の場合は17:00までに

SNSにて休講告知します

●開設

R物理（水曜日）

高校英語準備講座（水曜日）

高校数学予習講座（土曜日）

中学英語準備講座（日曜日）

中学数学予習講座は

J数学の全時間で対応

1/4 5 6 7 8 9 10

11 12 13 14 15 16 17

18 19 20 21 22 23 24

25 26 27 28 29 30 31

2/1 2 3 4 5 6 7

8 9 10 11 12 13 14

15 16 17 18 19 20 21

22 23 24 25 26 27 28

3/1 2 3 4 5 6 7

8 9 10 11 12 13 14

15 16 17 18 19 20 21

22 23 24 25 26 27 28

29 30 31 4/1 2 3 4

5 6 7 8 9 10 11

12 13 14 15 16 17 18

19 20 21 22 23 24 25

26 27 28 29 30 5/1 2

2月の通常授業は

2/1(日)から2/28(土)まで

1/12(月祝)2/11(水祝)2/23(月祝)は
通常通り開講します

コース紹介

Jコース・・・中学生内容

Sコース・・・特別カリキュラム

Rコース・・・高校生内容

※先生付き自習室は誰でも受講可
※Jコースへの小学生の参加は妨げません
※Rコースへの小中学生の参加は妨げません
※Sコースは四技能英語です（プログレス使用）

高校化学講座

開催日●毎週水曜日19:00～、20:40～（いずれも概ね90分）

会場●F C S 藤崎本館

内容●大学入試における化学は細かい単元がたくさんありますが、大きく分けて理論・無機・有機の3つに分けられます。

この内無機・有機はどうしても覚える内容が多く、覚えれば覚えるだけ得点力に直結するような分野です。

一方理論化学は化学全般の土台となる分野で、理解がとても大切です。実際、出題の比率も高く、センター試験の半分以上は理論化学分野から出題されています。

理論化学さえしっかり押さえておけば、後は暗記量に比例して点数は伸びていくため、まずは理論化学をしっかり身につけていくことが大事です。

もちろん理論化学を特に手厚くケアしていくことを考えています。

授業は説明や整理を行った後で、問題演習を行う形式をとります。問題を解く時に理論をどのように活用するかが大切なので、ただ解くだけでなく「何を問われているのか」「どのように問題文を整理して知識と結びつけるか」などの解答の根拠などを示し、幅広い問題に対応出来る力を付けます。

無機・有機については、表で整理したり、まとめて覚えると覚えやすいものなどを示した上で、とにかく反復して知識の定着を図ります。

物理と同様、全ての範囲が終わった生徒は受験生枠を別に設け、実際の過去問や受験対策用の問題演習を繰り返すことで実力をつけます。

授業で躓いた生徒、今後化学が必要になるため予習しておきたい生徒など誰でも歓迎します。

説明は理論化学のはじめから、Oから学ぶという前提で進めていきますので、全ての生徒に新しい気持ちで取り組んで貰います。

高校物理講座

開催日●毎週月曜日19:00～、20:40～

毎週水曜日19:00～、20:40～

毎週土曜日18:40～（いずれも概ね90分）

会場●F C S 藤崎本館

内容●物理大学入試における物理の分野には力学・電磁気・波動・熱・原子があります。

中でも力学と電磁気の2分野は必ずどこの大学でも出題されており、この2分野をしっかり身に付けることは重要です。

さらに言えば、物理の初めに習う力学は、数学における式と計算のようなもので、物理全体の基礎となる部分であり、もっとも重要な分野です。

“物理が嫌い”というほとんどの人はこの力学でつまづいています。

物理の問題は当然ながら、公式や物理法則を適用しなければ解けません。しかし、公式はただ暗記しても、現象を正しく理解していなければ、それを適用することすらできません。

そこで授業は始めに説明を行い、理解をしてもらった上で、その理解を助け、覚えるべき事を「使える」形で覚えるために、最適な問題で演習を行う形式をとります。

理解した現象を問題へと結びつけていく方法を示しながら、実際に行う問題演習ではそれぞれの生徒に助言を与えつつも自力で解かせる時間をとります。

また、全ての範囲が終わった生徒は受験生枠を別に設け、実際の過去問や受験対策用の問題演習を繰り返すことで実力をつけます。

授業で躓いた生徒、今後物理が必要になるため為予習しておきたい生徒など誰でも歓迎します。

説明は力学のはじめから、Oから学ぶという前提で進めていきますので、全ての生徒に新しい気持ちで取り組んで貰います。